

# 恋人の聖地で出会いを

## 阿智村 初の「湯るコン」盛況に

阿智村の「星・恋人の聖地プロジェクト会議（小島嘉仁代表）は21、22の両日、昼神温泉で1泊しながら中京方面の女性と出会う婚活イベント「アイスキャンドルナイト！with第1回湯るコン」を開催した。中京圏からの女性たちと県内の男性陣60人が、アイスキャンドル作りなどで雪や自然を楽しみながら交流を楽しんだ。

村全域が「恋人の聖地」に認定されたこと、今回初めて開催した。や「日本一の星空」が、昼神温泉旅館の若手有志などを中心に行き、委員会を組織し、中京方面や県内にPRを行ってきた。割安な価格で行は、簡単な自己紹介

を経てグループごとにアイスキャンドルを飾る雪の台座作り挑戦した。雪山を作ったり、雪だるまを重ねたりと雪遊びをしながら交流をし、夜になると自分たちで作った雪の台座をキャンドルで飾り付け、幻想的な灯火と夜空の星々を楽しんだ。

ツプルは主催者が確認しただけで8組おり、アンケートで「同様のイベントにもう一度参加したい」と答えた人は7〜8割に上った。星と恋人の聖地の婚活イベントは今後も継続する予定だ。

開会式に参加した熊谷秀樹村長は「恋人の聖地に関連したイベントで都会の若い人への地を知ってもらい、ゆくゆくは移り住んでもらいたい」と語る。

主催した小島さん（35）は「初の試みだったが、地域振興、観光振興のため、この流れを活用してアイデアを出し、村を盛り上げていきたい」と話していた。



アイスキャンドル用に雪の台座を作る（阿智村智里で）